

新たな技術領域を開拓する学生論文特集の発行にあたって



新たな技術領域を開拓する学生論文特集編集委員会

委員長 塩川 茂樹

何事においても、新たな領域を開拓するには大変な労力を必要とするものである。失敗する可能性も多々ある中で、これまでになかった未知の領域を生み出すためには、単に創造力や技術力だけでなく、熱意や根気といった精神的素養も重要となるであろう。そのように考えると、才能あふれる若い人の力が開拓に必要不可欠なことは言うまでもないことである。

通信分野の技術進歩は目覚ましく、その技術領域は先人たちによって常に開拓され続けてきた。その先人たちの多くもかつては学生研究者であった。つまり、未来に向けて新たな通信技術の領域を開拓するには、今学生である人たちの力が不可欠だということである。彼らには大いに成長し活躍してもらいたいものだが、優れた研究成果を挙げながら、論文執筆の機会を逃している方も多くいることと思う。これは本人の成長にとっても通信技術の発展にとっても大きな損失である。

学生のための論文特集は、2009年度より和文論文誌編集委員会が企画しており、今年度は通信の新たな技術領域を開拓するという名のもと、11回目の特集となる。今回もこれまで同様、特集テーマとして技術分野を絞ることなく広く通信技術全般を対象とし、筆頭著

者が社会人博士課程を含む学生となる論文を募集した。本特集に投稿された論文数は論文11編、レター2編であり、厳正なる審査の結果、最終的に論文6編、レター1編を採録とした。また採録された論文のうち1編を優秀論文賞として表彰することとした。

最後に、本特集の発行にあたり、御投稿頂いた学生諸君、論文査読に御尽力頂いた査読委員の方々、ならびに事務局の方々に深く感謝する。判定にあたっては、公正な採否の判断は当然であるが、通知文の作成にも注意を払った。特に編集委員の皆様には、条件付採録或不採録についてのコメントを学生にとって今後の糧となるよう心がけて作成して頂いた。ここに改めて感謝する次第である。本特集をきっかけとし学生諸君に新たな技術領域を開拓してもらえれば幸いである。そして今後のますますの投稿を期待する。

しおかわけき
塩川茂樹（正員：シニア会員） 平10慶大大学院博士後期課程修了。同年名工大・電気情報工学科助手。平13年神奈川工科大・情報ネットワーク工学科助手、助教授を経て教授。現在に至る。無線マルチホップネットワークの研究に従事。博士（工学）。平8本会交換システム研究会優秀論文賞受賞。平12電気通信普及財団テレコムシステム技術学生賞受賞。平20・平26・平28・平30本会通信ソサエティ活動功労賞受賞。

新たな技術領域を開拓する学生論文特集編集委員会

委員	長	塩川茂樹	・	小川猛志	・	大津智	・	山田卓哉
副委員	長	平藤明徳	・	今田美幸	・	佐藤輝	・	山田卓哉
委	員	伊藤嘉浩	・	木武茂	・	竹村暢	・	山田卓哉
		鬼沢一哉	・	富藤正	・	村木破	・	山田卓哉
		鈴木村崇悠尚	・	岡原山	・	崎	・	山田卓哉
		谷田下	・	光	・	浩	・	山田卓哉
		廣道	・	文	・	輔	・	山田卓哉